


(2) 敷地内の通路に設ける段及び傾斜路

	整備基準	図面及び各項目の名称・番号等	設計内容	判定	留意事項
				基準	
敷地内の通路に設ける段	両側に連続した手すりを設置		(手すり) ・有 ・無		
	回り段を設けない。		(回り段) ・有 ・無		
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	段を識別しやすい構造		・踏面、蹴上げ、段鼻の色を変える。 ・その他 ()		
	つまずきにくい構造		・蹴込み板を設け、段鼻を突き出さない。 ・その他 ()		
敷地内の通路に設ける傾斜路	内のり幅1.2m以上 (段を併設する場合は、90 c m以上)		(最小内のり幅) m		傾斜路の手すりは、当該傾斜路に段を併設する場合、片側だけの設置とすることができます。
	勾配1/12以下 (高低差が16cm以下の場合は、1/8以下)		(最大勾配)		
	高さが75 c m以内ごとに踏幅1.5m以上の踊場を設置		(踊場の有無) ・有 ・無 (踊場の踏幅) m		
	両側に連続した手すりを設置		(手すり) ・有 ・無		
	平たんな仕上げ				
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	踊場及び傾斜路に接する敷地内の通路と識別しやすい色調		(傾斜路の色) (その他の色)		
	壁等に接していない縁には、転落を防ぐ5 c m以上の立ち上がりの設置		(立ち上がり) ・有 (c m) ・無		

(注意) 1 用語の説明

「傾斜路」は、勾配が1/20を超えるものが該当します。